



## 成果の概要

渉外部長 河野 忠男

### 【京都大学未来フォーラムの実施状況について】

「京都大学未来フォーラム」は、「京都大学教育研究振興財団」の後援を得て、京都大学の第2期「中期目標・中期計画」の柱に掲げられている教育計画の実現に資する事業として開催しているものである。

実施にあたり、国際的視野、社会・経済の変化に対応しうる幅広い視野で活躍されている方々を講師に招き、講演と意見交換の場を提供することにより、本学学生に対する学習・研究意欲を涵養する事業の一つとし、企業や官庁、国際機関、NGO、大学・研究機関、マスメディア、文化・芸術など様々な分野で活躍する方々を通して得られる社会からの情報還元により、学生自身が社会・経済及び文化に対応し得る幅広い視野と総合的な判断力を養い、社会の中で幅広く物事に対処できる自己の確立、また、学生自身の学習・研究への意識や意欲の向上を図ることにより、自学自習の中での自己研鑽及び意識改革へとつなげることを効果として期待している。

平成23年度は、京都橘大学名誉教授の田端泰子氏、株式会社はてな代表取締役社長の近藤淳也氏、能楽金春流シテ方の金春康之氏、東京大学先端科学技術研究センター特任教授の米本昌平氏及び慶應義塾大学総合政策学部教授の上山信一氏と様々な分野から講師を迎え5回のフォーラムを開催した。各講演終了後には質疑応答の時間を設けており、活発な質問が行われた。

フォーラムには、5回で延べ1,902名の参加者があり、1回当たりの開催について380名の参加者があった。参加者の意見聴取については、毎回フォーラム終了後にアンケートを実施し、今後どのような分野の講師を希望するか等の意見を参考にしている。